

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	橋りょう補修事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する橋りょう	意図	市内の橋りょうの劣化等に対応した適切な維持補修・管理により耐久性の維持・向上を図り、安全で快適な交通環境を確保する。
事業内容	・市内に供用されている橋りょうの維持修繕及び適正管理を行うことにより、橋りょうの耐久性を延ばし、補修費の削減を図りつつ、通行の安全を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	・市内101ある橋りょうについては、塗装の剥離、構造の欠損が見受けられることから、H23年度より着手している。近年各地の地震災害の影響から、耐震対策の重要性が広く社会に認識されつつある現状を踏まえ、補修優先度の高い橋りょうについて、後期基本計画及び実施計画に反映され、計画的実施を図っていく。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		橋りょう補修工事件数	1	1	2	件	↑↑↑
	橋りょうの安全性や快適性に対する苦情件数	0	0	0	件	↓↓↓	単年度における苦情申し出・処理件数の合計
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況) ・地震発生は予期出来ないことから、耐震性に考慮した橋梁の補修を実施しなければならない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,906,062	11,355,166	16,878,256			
事業費(b)(円)		4,317,062	7,861,666	13,423,623			
うち一般財源		4,317,062	7,861,666	13,423,623			
職員給与費(c)(円)		3,589,000	3,493,500	3,454,633			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・箇所別の補修内容を把握する。	取り組みの課題	・点検を実施した橋りょう(101橋)について、修繕工事を実施するための予算確保が必要である。
今年度(H26)に実施した取り組み	・「橋梁補修工事」を実施した。	今後の改善計画	・「橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託」により策定した計画に基づき、橋りょう補修工事を実施する。